

| コース名 | | 科目名 | | | 対象学年 | | | |
|---|------|--------|----|------|------|-----|-----------------------|---|
| 良医の礎 | | 医の原則 I | | | 1 | | | |
| 開講学期 | | 科目責任者 | | 副責任者 | | | | |
| 1 学期 | | 秋山 隆 | | | | | | |
| 目的 | | | | | | | | |
| <p>医の原則 I は、「人間をつくる」教育のために開講された科目です。医学部に入学したばかりの1年生に対して、臨床の第一線で医療を実践している本学の臨床系准教授によって8コマの講義が行われます。先輩医師として自分自身の経験をもとに、新入生に伝えたいことをテーマとして講義を行ないます。医療倫理、救急医療、海外医療支援の実際など、毎年さまざまなテーマが用意されていますが、「プロフェッショナルリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢」「総合的に患者・生活者をみる姿勢、患者ケアのための診療技能」「社会への貢献」といったディプロマ・ポリシーに関連する内容が主体となります。</p> | | | | | | | | |
| 授業到達目標 | | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 医学・医療の歴史的流れとその意味を概説できる。 2. 救急医療の実践に関する問題点を列挙できる。 3. 多職種連携などチーム医療に対する問題点を指摘できる。 4. 患者の自己決定権の意義を説明できる。 5. 患者の個人的背景や社会的背景などに関わらず、公平に対応できる。 6. 患者やその家族のもつ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 7. 国際医療支援の実情を理解し、その重要性を説明できる。 | | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| 回数 | 月日 | 曜日 | 時限 | 区分 | 担当者 | 所属 | 授業内容 | コアカリ項目 |
| 1 | 4/26 | 金 | 3 | 講義 | 秋山隆 | 病理 | 緒方洪庵に学ぶ | PR-01-01, PR-02-03 PR-03-01-01, GE-01 SO-04-05, SO-04-05-01 |
| 2 | 5/10 | 金 | 3 | 講義 | 森仁 | 神内 | 医師の時間の使い方と「試験」への取り組み方 | LL-01-01, LL-01-01-01 LL-01-01-02, IT |
| 3 | 5/17 | 金 | 3 | 講義 | 田中了 | 皮膚 | 「がんと闘う」とは？ | GE-01-04, IT-02-01 CS-02, CS-03 CM |
| 4 | 5/24 | 金 | 3 | 講義 | 松本啓 | 消内 | ドラマ・漫画・映画から学ぶ医の心 | PR, GE-01-03 LL-01, CM |
| 5 | 5/31 | 金 | 3 | 講義 | 遠藤俊 | 消外 | 国際医療支援 | PR-02, GE-02-03 CM-03, SO-05-02 SO-05-02-03 |
| 6 | 6/ 7 | 金 | 3 | 講義 | 石田敦 | 総外 | 江戸時代の外科医 医聖 華岡青洲に関して | CS-02-04-28, SO-04-05 SO-04-05-01 |
| 7 | 6/21 | 金 | 3 | 講義 | 犬伏 | 医学部 | キュリー夫人は何をした人？ | PS-03-06-01, SO-04-05 SO-04-05-01 |
| 8 | 6/26 | 水 | 3 | 講義 | 宮本聡 | 救急 | 患者さんにどう向き合うか | GE-01-06-03, CS-03-03 CM-02-03 |
| 評価方法 | | | | | | | | |
| <p>[レポート]80% (講義内容に関する感想や意見をレポートとして提出してもらいます。講義の要約ではなく、個々の意見が重要です。)</p> <p>[出席状況 (受講態度)]20%</p> <p>[評価方法]出席・受講態度評価、論文・レポート</p> <p>[備考]レポートの具体的な提出方法に関しては、後日ポータルサイトで連絡しますので注意しておいてください。レポートが提出されない場合、評価は出席に関する部分のみになりますので注意してください。違う科目の講義に関するレポートは、評価対象になりません。レポート未提出の扱いになります。</p> | | | | | | | | |
| 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて | | | | | | | | |
| レポート作成に生成 AI は使用しないでください。レポートは「手書き」で提出して下さい。 | | | | | | | | |
| 教科書 | | | | | | | | |
| (教科書の指定はありませんが、普段から新聞やニュースでの「医学に関する情報」に注意を向けましょう。) | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | |
| (医学・医療に関する内容の本を読む習慣を身に付けましょう。) | | | | | | | | |
| 準備学習 (予習・復習等) | | | | | | | | |
| <p>基本的に予習は必要ありません。その代わりに講義時間にしっかり集中して聴講してください。</p> <p>講義内容についてはその都度復習し、学期末のレポートに備えて個々の感想や意見をまとめておいてください。</p> | | | | | | | | |
| 講義についての注意事項 | | | | | | | | |
| <p>臨床医を目指すうえで重要で、基盤となる内容ですから、興味を持って受講してください。</p> <p>疑問点や質問がある場合は、原則として講義終了時に担当教員に質問してください。</p> <p>担当教員のメールアドレスがわからない場合は、科目責任者の秋山にメールしてください。</p> | | | | | | | | |

昨年度からの変更点・改善項目

昨年は曜日を固定せずにできるだけ多くの教官が担当できるようにしていましたが、今年度はほぼ金曜に固定となりました。一部担当教員が変更しています。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

この科目は主として、コンピテンス・コンピテンシーの「Ⅰ. プロフェッショナリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢」の達成、なかでも医師としての態度、習慣、価値観の確立に向けて設定されているが、一部は「Ⅴ. 社会における医療の役割の理解」に関するテーマも含まれている。また、本科目履修には入学時において、幅広い教養、深い人間性、即ち思いやりがあり共感性の豊かな学生であることが望ましい。本科目では医師としての態度教育を行う。知性と道徳性のかん養に努め、医学史にも興味をもってもらおう。過去の医療者の実践からも医の倫理を体得する。2年次に学ぶ医の原則Ⅱへと続く学問である。

ナンバリング

HLMM110